

# ピシウム病、 赤焼病予防の新定番

芝生用 / 殺菌剤

# ザンプロターフ<sup>®</sup>

※BASF社の登録商標

 **BASF**

We create chemistry

新規系統有効成分「イニシウム®」配合

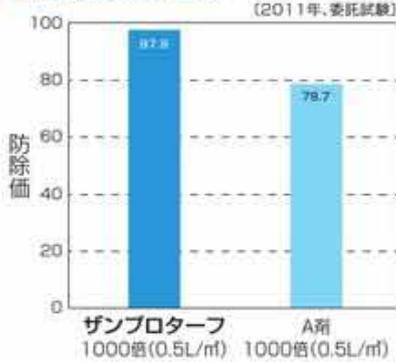
ピシウム病、赤焼病へ高い予防効果

優れた耐雨性と残効性

ベントグラスへの高い安全性

## ピシウム菌に対する高い予防効果

### ■赤焼病防除効果



試験場所: 日本植物防疫協会茨城研究所圃場  
供試芝: クリーピングベントグラス  
対象病害発生状況: 多発生  
薬剤処理日: 7月7日、14日、21日(発病前)、  
8月4日、11日  
病原菌接種: 7月27日  
調査日: 8月15日(最終処理4日後)

### ■ピシウム病防除効果



発生前～発病初期の散布で、ピシウム病をしっかり予防します。

## 芝生に高い安全性

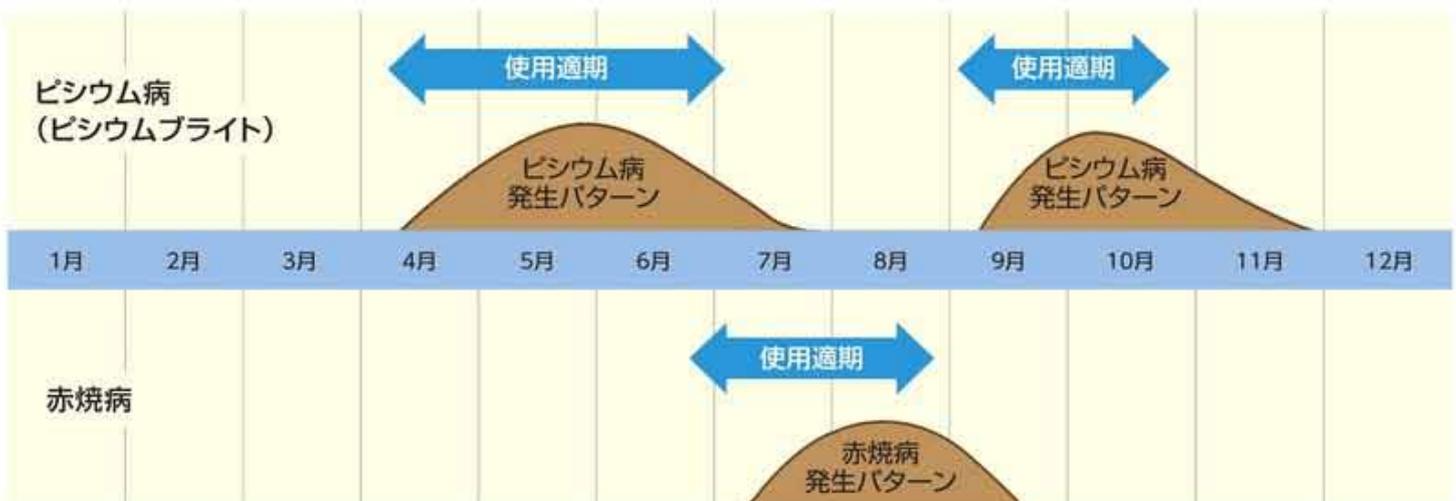
[2012年、社内圃場試験]

作物名	薬量/㎡	水量/㎡	散布日	調査月日	薬害
ベントグラス (SR1020)	0.5mℓ	500mℓ	7月31日	8月7日	薬害無し
	1mℓ			8月22日	
	2mℓ		8月22日	9月3日	
ベントグラス (ベंकロス)	0.5mℓ		7月24日	8月8日	
	1mℓ		8月8日	8月22日	

## 対象病害発生パターンと散布適期

●ローテーション防除に組み込むことで、ピシウム病・赤焼病をしっかり防除します。

防除適期: 発病前～発病初期



# ザンプロターフ®

## 新規系統有効成分「イニシウム®」配合 ピシウム病、赤焼病のローテーション防除に最適

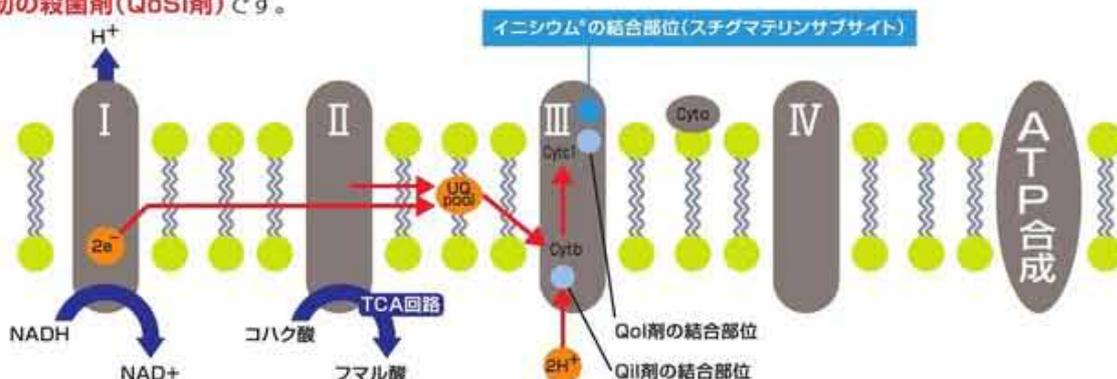
### ザンプロターフ®の作用機作と特性

- 新規系統の有効成分イニシウム®(一般名:アメトクトラジン)を配合。
- 電子伝達系複合体IIIに作用し、呼吸を阻害します(QoS剤)。
- 卵菌類(赤焼病、ピシウム病)に特異的に卓効を示し、優れた予防効果を示します。

### ミトコンドリアにおける電子伝達系と殺菌剤の結合部位

病原菌の細胞質内にあるミトコンドリア内の電子伝達系複合体IIIに結合して、エネルギー合成を阻害することで抗菌活性を示す殺菌剤は、これまで結合部位によってQol剤とQil剤に分類されていました。

ザンプロターフの有効成分であるイニシウム®は、Qol剤ともQil剤とも異なるスチグマテルリンサブサイト(QoS)に結合することが確認された、**世界初の殺菌剤(QoS剤)**です。

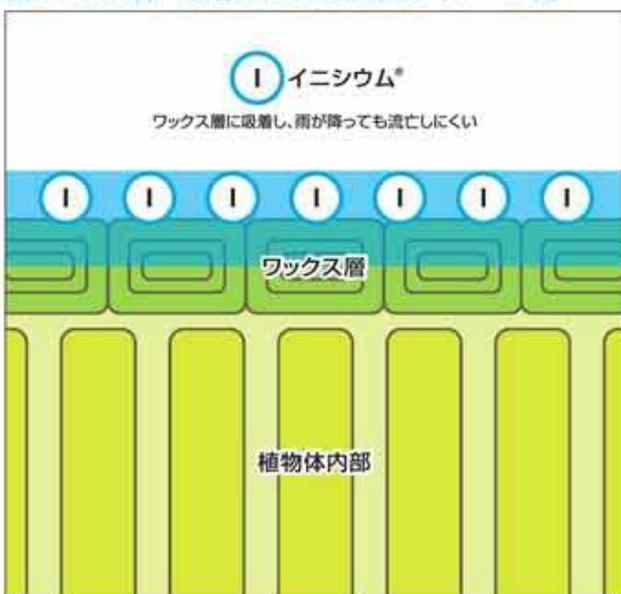


既存の殺菌剤\*と交差耐性を示さないため、ローテーション防除に最適です。\*フェニルアミド系、Qol剤(ストロビルリン系)、酸アミド系、イミダゾールなど

### 優れた保護効果と耐雨性

- イニシウム®はワックス層に強く吸着されて安定した保護層を形成するため、優れた耐雨性と残効性を示します。
- 吸着されたイニシウム®は、水分により再配分されます。

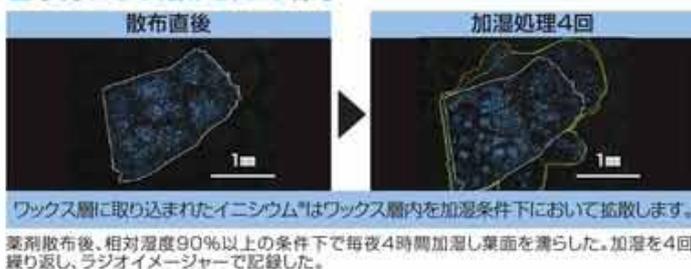
#### ■ワックス層へ吸着される、葉断面のイメージ図



#### ■優れた耐雨性



#### ■水分により溶け広がる様子



## 成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第23462号

種類：アメトトラジン水和剤

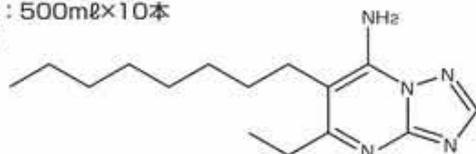
成分：イニシウム\*（一般名：アメトトラジン）…18.9%

化学名：5-エチル-6-オクチル[1,2,4]トリアゾロ[1,5-a]ピリミジン-7-アミン

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

規格：500mℓ×10本

構造式



## 人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさしていう通称)

LD <sub>50</sub> (ラット、経口)	2000mg/kg以上
LD <sub>50</sub> (マウス、経皮)	5000mg/kg以上

魚毒性(製剤)

コイ	LC <sub>50</sub>	1000mg/L以上(96時間)
オオミジンコ	EC <sub>50</sub>	120mg/L以上(48時間)
緑藻	ErC <sub>50</sub>	100mg/L以上(72時間)

## 適用病害と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アメトトラジンを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ペントグラス)	赤焼病 ピシウム病	1000倍	0.5L/m <sup>2</sup>	発病初期	3回以内	散布	3回以内

## 使用上の注意事項

- (1) 使用にあたっては、容器をよく振ってください。
- (2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- (3) 本剤の使用に当たっては使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- (4) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落してください。
- (5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- (6) 公園等で使用する場合には、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- (7) 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。
- 空ビンには3回以上水洗いし、圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。

**BASFジャパン株式会社**

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階

TEL 0120-014-660 FAX 03-3796-9419

http://www.agriculture.japan.basf.com

2015.12/9(20160308-01)